

群馬県知事 新年あいさつ



群馬県知事

山本 一太

明けましておめでとうございます。

館林商工会議所の皆様には、希望に満ちた新春を健やかにお過ごしのことと、心からお慶び申し上げます。館林商工会議所は、地域の総合経済団体として、商工業の振興・発展はもとより、館林のブランディングや観光振興にも取り組まれるなど、地域の活性化にご貢献いただいております。深く感謝申し上げます。

昨年は、アルメニア発祥の教育プログラムである「TUMO（ツーモ）」をアジアで初めて導入し、デジタルクリエイティブ人材育成施設「TUMO（ツーモ）Gunma（グンマ）」として「G メッセ群馬」にオープンしました。このTUMOの教育モデルが「教育版ノーベル賞」とも称される WISE（ワイズ）賞を受賞し、開所間もないTUMO Gunmaにとって大きな励みとなりました。

また、年末に公表された令和4年度の経済成長率が全国トップになったほか、最低賃金の伸び率も全国トップクラスとなるなど、「新・群馬県総合計画」の7つの政策の柱の下に取り組んできた施策が、幅広い分野で着実に実を結んできた実感しています。

本年は、人々を魅了し、ワクワクするような付加価値を生み出す「デジタル・クリエイティブ産業」の育成を加速させていきます。自動車をはじめとする「ものづくり産業」に並び、未来の群馬県をけん引していく新たな産業に育てるため、「クリエイティブ拠点化」「ロケ支援・魅力発信」「デジタルクリエイティブ人材育成」の3つの柱を中心に取り組みを進めます。関連企業の県内誘致や大型映像作品の制作支援などのほか、関連産業を支える人材育成として、小・中学生、高校生向けの tsukurun（ツクルン）、前述のTUMO Gunmaの運営に加え、大学生世代以上を対象とした（仮称）デジタルクリエイティブスクールについてもしっかりと検討してまいります。

これらの取り組みを着実に進めるため、県庁が自ら稼ぐ政策や、デジタル化による業務効率化で生み出した財源や人的資源を、直面する課題や未来への投資に集中し、県民幸福度の向上につなげてまいります。

本年も「選ばれる群馬」「挑戦する群馬」の実現に向け、県政のあらゆる分野で全力を尽くしてまいります。新しい年が、皆様にとりまして、希望に満ち、豊穡なる成果をもたらす一年となりますことを、謹んで祈念申し上げます。

群馬県商工会議所連合会 会長 新年あいさつ



（一社）群馬県商工会議所連合会 会長

金子 昌彦

令和8年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

皆さまにおかれましては、日頃から商工会議所の事業活動に多大なるご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、中小企業にとっては、最低賃金の引き上げや人手不足に伴う防衛的賃上げによる「人件費負担の増加」、川上から川下まであらゆる段階で進まない「価格転嫁」など厳しい状況が続いています。

加えて、米国の相互関税による悪影響は自動車産業のみならず、様々な経路を通じて広がっていくことを懸念しています。

商工会議所でも、企業に寄り添いながら、国や県の支援策を広く周知し、活用を促すなど、きめ細かな支援に取り組んでいるところです。

もちろん、こうした厳しい状況にあっても、成長に向けた投資や賃上げの原資を確保するため、生産性の向上と新たな価値の創造に積極果敢に挑戦する企業も数多くあります。こうした企業をしっかりと「伴走支援」していくことも商工会議所に課せられた大きな役割と考えています。

私たち商工会議所は、群馬県経済のさらなる発展と魅力ある地域を創造していくことが使命と考えています。地域の総合経済団体として、今後も時代の変化を適確に捉えながら、地域の力を結集し、事業者の皆さまの挑戦を全力でサポートするとともに、国や県に対する政策提言を積極的に行ってまいります。

皆さまのより一層のご理解、ご協力を心からお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとって実り多い素晴らしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。